

2022年9月 (No.399)

主な内容とページ

半導体の世界貿易、中国の輸入が停滞.....	1
目立つ自動車生産国の輸入増	2
低調だった上期の中国、香港の輸入	3
台湾 半導体輸出で世界トップ	4
中国の対米輸入が大幅減	5
増大する中国の半導体輸出	7
日本の半導体貿易は赤字へ	8
デジタル敗戦と半導体(SRL だより).....	10

半導体の世界貿易、中国の輸入が停滞

今年上期(1-6月)の半導体の世界貿易では、中国の輸入が停滞、世界シェアが減少、変化が明確に表れた。

1. 中国は歴史的に半導体輸入を大幅に増大、同国は世界の半導体消費の中心になったが、22年上期に世界シェアは顕著な落込みをみせ、転換期の様相を示している。
2. 半導体貿易、特に当期の輸入では欧州、インド、タイおよび日本などが急伸。自動車生産に関連した伸びが目立った。
3. 半導体での中国の貿易シェアは低下したが、それでも世界の半分近くを占め、その巨大な影響力は変わらない。今後は中国の輸出の増加など、見込まれる。

デジタル敗戦と半導体

コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の失敗が、日本のデジタル化の遅れの象徴とみられ、「デジタル敗戦」といわれている。失敗の原因はいろいろあるようだが、結論からいえば、役に立たなかった、使われなかったということだろう。マイナンバーカードも、同じような状況。「マイナカード」がマイナーでメジャーにならないのでは困る。

デジタル化を進める上での障害は、縦割り行政、縄張り意識など制約が多く、それらを考慮すると使い勝手が悪くなってしまうこと。役に立つ、使いやすいシンプルなものが必要。半導体も、使われるシステム全体に対して如何にコスト削減、信頼性の向上を図るか、それが究極の目標。

海外では、既存の問題点、それをいかに解決するか、変更した場合の最終的な利益(使いやすさや経済性)で、デジタル化、半導体化を進める。いわばトップダウンだろうか。これに対して日本のそれは、個別の問題点の解決、原価積み上げなどボトムアップの感じを受ける。個別も大事だが、全体の方がより重要と思うが。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2022 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2022 年 9 月(毎月 1 回発行)第 33 巻 9(通巻 399 号)

発行元:株式会社 SRL
〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35
TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© 株SRL 2022

SRL Monthly Report

September 2022, No.399

Semicon Research Ltd.
3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan
Mail: info@semiconresearch.co.jp
Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)